



Title	附錄
Author(s)	
Citation	懷德. 1925, 3, p. 67-75
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/88717
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

附錄

第九年第一期懷德堂講義講演日誌

自大正十四年一月至同年三月

第十九回

同十五日（木曜）
定日講義（第六百五十二回）聽講生七十四名出席
四十九名

一月十一日（日曜）

日曜朝講（第二百五回）聽講者十名

論語

自子張篇第十一章至同第十八章

同十二日（月曜）

松山教授

定日講義（第六百五十回）聽講生六十六名出席四
十六名

教育勅語捧讀

松山教授

韓非子 喻老篇首

稻束講師

詩經 大雅韓奕

財津講師

同十四日（水曜）

同十七日（土曜）

定期講演（第二百四十三回）聽講者八十八名

三十一回

同十八日（日曜）

定日講義（第六百五十一回）聽講生六十六名出席

二先哲叢談

自五井純旗至卷之四終

『中井竹山非徵曰』條

三十二回

同十八日（日曜）

定期講演（第二百四十四回）聽講者二十四名

理學宗傳

自卷九、十六丁至同十八丁

（王子傳習錄）

（第八十九回）

松山教授

日曜朝講（第二百六回）聽講者二十名

論語

自子張篇第十九章至堯曰篇首

松山教授

通俗講演（第五十三回）聽講者九十餘名

四十七名

萬葉集 山上憶良鎮 懷石をよめる
歌外數首

(第三回)

周易程傳 自噬嗑六五 (第五十) 林 講師

同

周易程傳 自賁家傳 (三) (三) 松山 教授

三十日 (金曜)

文科講義 (第六十五回) 聽講生三十七名出席二十

二名

『カント』プロレゴメナ (第九回) 朝永 講師

朱子語文精要 爲學之方 (第二回) 松山 教授

同

朱子語文精要 (土曜)

定期講演 (第二百四十五回) 聽講者七十九名

家庭教育と社會教育 (第二回) 野上 講師

二月一日 (日曜)

日曜朝講 (第二百八回) 聽講者二十三名

孟子 (至梁惠王上首章) (第一回) 松山 教授

同

二日 (月曜)

定期講義 (第六百五十九回) 聽講生八十四名出席

三十一名

韓非子 (講師爲病氣休講)

詩經 大雅瞻仰

財津 講師

同 四日 (水曜)

定日講義 (第六百六十回) 聽講生八十名出席二十

四名

先哲叢談 自淺見安正至安積覺

財津 講師

理學宗傳 自卷九至同二十七丁 (王子傳習錄)

松山 教授

同

五日 (木曜)

定日講義 (第六百六十二回) 聽講生八十六名出席

四十八名

萬葉集

山上憶良鎮 懷石をよめる歌

(第四回)

周易程傳

自賁家傳 (第五十) 林 講師

同

六日 (金曜)

文科講義 (第六十六回) 聽講生二十七名出席十一

朱子語文精要 爲學之方 (第三回) 松山 教授

同

七日 (土曜)

定期講演 (第二百四十六回) 聽講者八十七名

日本に於ける社會生活の發達

(第二回)

西田 講師

デイヒツング 第十四回

藤代 講師

同 八日 (日曜)

杜詩偶評卷二 題李尊師松樹障子歌外五首

鈴木 講師

日曜朝講 (第二百九回) 聽講生二十一名

定期講演 (第二百四十七回) 聽講者八十七名

定期講演 (第二百四十四回) 聽講生二十八名

孟子 自梁惠上第二章 (第二回) 松山 教授

家庭教育と社會教育 (第三回) 野上 講師

家庭教育と社會教育 (第三回) 野上 講師

通俗講演 (第五十四回) 聽講者五十餘名

定日講義 (第六百六十二回) 聽講生八十七名出席

定日講義 (第六百六十四回) 聽講生八十九名出席

我國租稅の體系につきて

同 九日 (月曜)

同 九日 (月曜)

韓非子 自昔者紂爲象箸條 稲束 講師

同 九日 (月曜)

同 九日 (月曜)

詩經 大雅召旻 自昔者紂爲象箸條 稲束 講師

同 九日 (月曜)

同 九日 (月曜)

同 十二日 (木曜)

同 九日 (月曜)

同 九日 (月曜)

同 十二日 (木曜)

同 九日 (月曜)

同 九日 (月曜)

同 十二日 (木曜)

同 九日 (月曜)

同 九日 (月曜)

同 十二日 (木曜)

同 九日 (月曜)

同 九日 (月曜)

同 十二日 (木曜)

同 九日 (月曜)

同 九日 (月曜)

同 十二日 (木曜)

同 九日 (月曜)

同 九日 (月曜)

同 十二日 (木曜)

同 九日 (月曜)

同 九日 (月曜)

同 十二日 (木曜)

同 九日 (月曜)

同 九日 (月曜)

同 十二日 (木曜)

同 九日 (月曜)

同 九日 (月曜)

同 十二日 (木曜)

同 九日 (月曜)

同 九日 (月曜)

同 十二日 (木曜)

同 九日 (月曜)

同 九日 (月曜)

同 十二日 (木曜)

同 九日 (月曜)

同 九日 (月曜)

同 十二日 (木曜)

同 九日 (月曜)

同 九日 (月曜)

同 十二日 (木曜)

同 九日 (月曜)

同 九日 (月曜)

同 十二日 (木曜)

同 九日 (月曜)

同 九日 (月曜)

同十九日（木曜）

定日講義（第六百六十六回）聽講生八十九名出席
三十八名

萬葉集 天皇内大臣藤原朝臣に詔して春山の花の
艶と秋の千葉の彩を競はせたまふ時額田

王歌を以て判りたまへる歌

近江荒都を過ぐる時に柿本朝臣人麿のよ
めの歌 外數首

（第六回） 周易程傳（第五十回） 林講師
自賈六五 至剝彖傳 六回 松山教授

同

二十日（金曜） 文科講義（第六十八回）

聽講生三十七名出席五名

『カント』 プロレゴメナ 休講

朱子語文精要 爲學之方（第四回）松山教授

同二十一日（土曜） 定期講演（第二百四十八回）

聽講者六十一名

日本に於ける社會生活の發達

西田講師

（第三回） 同二十二日（日曜）

日曜朝講（第二百十一回）聽講者十七名

孟子 自梁惠上第七章齊桓晉文章至同章半
（第四回） 松山教授

同二十三日（月曜）

定日講義（第六百六十七回）聽講生八十九名出席
二十四名

韓非子 自喻老楚莊王欲伐越條

稻束講師 至說林上子胥出走條

財津講師 詩經 周頌時邁嘒嘻

財津講師

同二十五日（水曜）

定日講義（第六百六十八回）聽講生八十九名出席
十五名

先哲叢談 源君美

理學宗傳 自卷九、三十丁 至同三十三丁（王子傳習錄）

（第九十四回） 周易程傳（第五十回） 松山講師

同二十六日（木曜）

定日講義（第六百六十九回）聽講生九十名出席四

十名

萬葉集 吉野宮に幸ませる時柿本

人麿のよめる歌 外數首

（第七回） 周易程傳（第五十回） 林講師

自剝大象 至同六五

（第七回） 文科講義（第六十九回）聽講生三十七名出席十名

レエベン、ウント、ビルヅング グロツセ、

デイビング (第十五回)

藤代 講師

四名

杜詩偶評卷二 觀打魚歌外七首

鈴木 講師

先哲叢談

自源君美至室直清

財津 講師

(第二十四回)

理學宗傳

自卷九、三十三丁至同三十五丁

(王子傳習錄)

松山 教授

定期講演 (第二百四十九回) 聽講者六十三名

同 五日 (木曜)

家庭教育と社會教育 (第四回) 野上 講師

定日講義 (第六百七十二回) 聽講生九十名出席三

十七名

同 六日 (金曜)

萬葉集 舍人娘子の駕に從ひてよめる歌

外數首

日曜朝講 (第二百十二回) 聽講者二十名

孟子 自梁惠上第七章曰不爲者節至同章吾憎不能進於是矣節

松山 教授

(第八回)

周易程傳

自剝上九至復彖

(第五十回) 松山 教授

林 講師

臨時通俗講演 聽講者約三百名

穗積 講師

同 七日 (土曜)

文科講義 (第七十回) 聽講生三十七名出席十二名

『カント』プロレゴメナ (第十二回) 朝永 講師

朱子語文精要

存養 (第五回) 松山 教授

松山 教授

定期講演 (第二百五十四回) 聽講者六十四名

(第五回)

稻 束 講師

日本に於ける社會生活の發達

(第四回)

西田 講師

定期講演 (第二百七十四回) 聽講生九十名出席二十

三名

韓非子 說林上 自慶封爲亂於齊條至韓宣王謂穆留曰條

同 二日 (月曜)

家庭制度につきて

穂積 講師

朱子語文精要

存養 (第五回) 松山 教授

松山 教授

定期講演 (第六百七十回) 聽講生九十名出席二十

三名

定日講義 (第六百七十回) 聽講生九十名出席二十

三名

同 四日 (水曜)

同 四日 (水曜)

詩經 周頌振鶯載見

至韓宣王謂穆留曰條

稻 束 講師

定期講演 (第二百十三回) 聽講者二十三名

日本に於ける社會生活の發達

同 八日 (日曜)

同 八日 (日曜)

定期講義 (第六百七十一回) 聽講生九十名出席十

定日講義 (第六百七十一回) 聽講生九十名出席十

同 四日 (水曜)

同 八日 (日曜)

同 八日 (日曜)

孟子 自梁惠下第七章五畝之宅節
至梁惠下第三章

（第十八回）

松山 教授

同 九日 （月曜）

定日講義 （第六百七十三回） 聽講生九十名出席二

十一名

韓非子 說林上自紹績味醉寐條
至曾從子善相劍者也條

稻束 講師

詩經 周頌有客載芟

財津 講師

同 十一日 （水曜）

定日講義 （第六百七十四回） 聽講生九十名出席十

六名

先哲叢談 自室直清至三宅緝明

財津 講師

理學宗傳

自卷九、三十五丁
至同三十八丁（王子傳習錄）

松山 教授

同 十二日 （木曜）

定日講義 （第六百七十五回） 聽講生九十二名出席

三十四名

萬葉集 （第九回）

林 講師

周易程傳 自復象傳
至同六四

（第五十九回） 松山 教授

同 十三日 （金曜）

文科講義 （第七十一回） 聽講生三十八名出席十四
名

レエベン、ウント、ビーヴンゲ

グロツセ、

デイヒッング

（第十六回）

藤代 講師

杜詩偶評卷二

閻山歌至丹青引

鈴木 講師

同 十四日 （土曜）

定期講演 （第二百五十一回） 聽講者六十五名

家庭教育と社會教育

（第五回）野上 講師

同 十五日 （日曜）

日曜朝講 （第二百十四回） 聽講者二十七名

孟子 自梁惠下第四章

（第七回）松山 教授

同 十六日 （月曜）

定日講義 （第六百七十六回） 聽講生九十二名出席

十七名

韓非子 說林上自紂爲象箸條
至篇尾

稻束 講師

詩經 （爲講師病氣休講）

財津 講師

同 十八日 （水曜）

定日講義 （第六百七十七回） 聽講生九十二名出席

十七名

（第六十一回）

松山教授

同 二十七日（金曜）

文科講義（第七十三回）聽講生三十八名出席十一
名

レーベン、ウント、ビルヅング

グロツセ、

ディヒッング

（第十七回）

藤代講師

杜詩偶評卷二 自憶昔至縛雞行

（第二十六回）

鈴木講師

同 二十八日（土曜）

定期講演（第二百五十二回）聽講者五十六名
日本に於ける社會生活の發達

（第五回）

西田講師

同 二十九日（日曜）

日曜朝講（第二百十六回）聽講者二十四名

孟子 自梁惠下第十一章至同第十五章（第九回）松山教授

同 三十日（月曜）

定日講義（第六百八十二回）聽講生九十二名出席

十八名

韓非子 說林下 自篇首至荆令 稲束講師

詩經 公子將伐陳條 財津講師

魯頌嗣泮水